

【変更】取組方針における
概ね5年(R3~R7)で実施する取組（各関係機関）

令和3年2月16日

石狩川上流減災対策協議会

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V	<ul style="list-style-type: none"> 流下能力が不足する3川合流点付近を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①流下能力が不足する地区を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施する予定 ②河岸侵食リスクを鑑み適切な侵食対策を実施する予定 						
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫リスクの高い区間において、粘り強い堤防(堤防天端の舗装、堤防法尻の補強)の整備を実施。 	-						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計の水位情報や簡易型河川監視カメラ画像を確認出来る「川の水位情報」を提供 直轄河川の上流から下流まで連続的に、洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」を提供 	①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後も改良予定						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	<ul style="list-style-type: none"> 洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置 	①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定						
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	<ul style="list-style-type: none"> 洪水に備え水防資材の調達を実施 水防拠点の整備に向けた設計、地元調整等を実施 	①継続して実施予定						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・流域全市町村におけるタイムライン(簡易版)作成 ・タイムラインの実践やタイムラインを用いた研修等において精度向上を図る	①継続した避難勧告型タイムラインの周知や運用を行い、必要に応じて見直しを行うなど精度向上を図る						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	・避難の切迫性が確実に伝わるよう本文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れがある地域表示を想定最大規模の洪水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付けるなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応じた洪水予報文の改良を行う予定						
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表 (多言語化対応含む)	F、J	・石狩川、忠別川、美瑛川、辺別川、牛朱別川、オサラッベ川、牛朱別川・永山新川の洪水浸水想定区域図等の作成・公表	①必要に応じて見直しを予定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・ハザードマップ等作成のための支援として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・周知や利活用の促進を図るため、ハザードマップポータルサイトや地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)へ洪水浸水想定区域等データを登録	①ハザードマップの活用促進に向けて事例提供等の支援を実施予定						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・モデル校において、作成した指導計画に基づく防災授業を実施。 ・指導計画について、協議会内で共有。	①自治体からの意見を集約し防災教育素材を整理予定 ②小中学校で活用しやすいようにHP等で素材を共有予定						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・旭川市、鷹栖町、美瑛町にて、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練、極門操作訓練等を実施	①勉強会、研修会等を実施予定 ②排水ポンプ車の設置訓練などを実施予定						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G、J	・対象外となっている地区の図面を作成し、自治体に提供	①対象外となっている地区の情報提供及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(石狩川流域圏会議)	①豪雨災害対策職員研修(石狩川流域圏会議)などの支援を実施予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行う予定						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・浸水想定区域公共施設成図(水位観測所、警察、病院、避難所等)を自治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及び避難時の課題抽出	①必要に応じて提供情報の更新を実施予定						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法等を説明予定						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・湛水時間24時間以上となる箇所全てを抽出し、石狩川上流排水計画ハンドブック及び石狩川上流域・ポンプ式進入ルート図(水系全体)作成(R2.3完成)	①排水作業準備計画の更新を実施、各関係機関に提供予定						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「洪水警報の危険度分布」をワンタッチで表示する改善を実施。「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを気象庁と民間の協力事業者で開始。「危険度分布」と浸水想定区域等リスク情報を重ね合わせる改善を実施。TwitterやYouTubeを利用した情報発信の開始。	必要に応じて改善を進める。						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	避難の切迫性が確実に伝わる主文への改良や、警戒レベルの追記を行なった。また、大雨特別警報の警報等への切り替えに合わせて洪水予報(臨時)を発表するよう改良を行なった。	必要に応じて改善を進める。						
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	学校安全推進会等において教職員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小中学生を対象に講演を実施した。また、防災教育素材の紹介や、教科書副読本の作成に協力した。	関係機関と協力して対応を行なう。							
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関・自治体が主催する防災訓練、防災教室等において講演を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして気象防災普及啓発を進めた。また、気象庁HPにおいて防災気象情報等の多言語化(14か国語対応)を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。							
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップを実施した。	市町村と協力して、個別に気象防災ワークショップを実施する。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会席上において気象災害事例等の情報提供を行なった。	引き続き情報提供を行なう。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V	堤防整備、河道掘削を実施	引き続き実施する。						
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V	堤防の天端舗装を実施	引き続き実施する。						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計の設置(R元年度で完了)							
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	協力依頼等があれば適宜実施する。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を作成。	未定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・美瑛町防災教室(美瑛町、美瑛消防署、旭川地方気象台 主催)への参加 ・1日防災学校の実施を支援(旭川市：旭川第1小学校、美瑛町：美沢小学校)	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き各機関が実施する防災訓練等への参加・協力する。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・特になし	・関係機関と協力して対応する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施する。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援 ・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	引き続き、市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2) 大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学生を対象に防災講話を実施。	小中学生を対象に防災講話を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水害が予想される地域の交番連絡協議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等を対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対して防災訓練(水害含む)を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、啓発活動を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2) 大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項												
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D									
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'									
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N									
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K									
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K									
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J									

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施予定。							
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施予定。							
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村が実施する防災訓練に参加した。 ・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加予定。 ②石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H28.4.8 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成。 ・R1年にタイムラインを用いた部局内訓練を実施。	・出水期前に内容の確認を含め、必要に応じて見直しを実施。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	—	・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や作成の支援をする。 ・随時実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を地域防災計画に定め、情報伝達体制を構築(毎年修正)。	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を精査し、避難確保計画未作成の施設に対して、作成し報告するよう通知する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	—	・避難行動要支援者名簿を毎年更新するとともに、避難支援等関係者に対して活用方法等の普及啓発を行う。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・H25年道北市長会構成市で災害時の相互応援に関して覚書を締結している。 ・H27年災害時等における北海道及び市町村相互の応援、広域一時滞在等に関する協定を締結した。	・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行う。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、緊急速報メール等を整備した。	・既存の情報伝達手段の活用方法について普及啓発するとともに、適宜、新たな情報伝達手段について検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H31年3月に住民に配布した。(ホームページに日本語、英語版を掲載) ・講習会等を通して周知した。	・必要に応じて更新を検討する。 ・講習会等を通じて市民へ周知する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの管理を行う。	・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・行動方法の普及啓発に取り組む。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災センター施設見学等の利用促進について検討した。 ・R2年8校の小学校において1日防災学校を実施した。	関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施する。 ・関係機関と連携した効果的な訓練を実施する。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発実施した。 ・R2年4月に旭川市避難マニュアル(市民用)を改訂した。	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発を実施する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」を周知した。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」を周知する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・旭川市災害対策本部訓練を実施。	石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有する。 ・減災対策部会等で情報を共有。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集の手法等について検討。	・水防協力団体の募集の手法等について検討。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・防災訓練や各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・防災訓練や消防本部主催行事で消防団員の募集を周知。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・R2年3月に旭川市災害時受援計画を改訂・修正した。 ・R2年5月に旭川市業務継続計画を策定した。 ・新庁舎の建設工事に着手。	・必要に応じて計画の見直しを行い、機能維持について検討する。 ・防災拠点としての新庁舎の運用を開始し、備蓄倉庫の整備を検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・市所有の排水ポンプの操作訓練を実施。 ・旭川市災害対策本部訓練で実施。 ・水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施。 ・引き続き水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所の確認、一部水位計を設置。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施。 ・水道局において引き続き内水排除作業箇所の確認及び一部水位計を設置。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	先行事例として北斗・北成地区を対象に作成サポートを検討。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	該当無し。	該当無し (今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	防災協定先の自治体との間で広域避難連携の必要性について共有	有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS(Facebook、ツイッター、LINE)、防災無線を整備した。	各種SNS並びに防災無線の戸別受信機を活用した情報発信の定着。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年11月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	小学生親子を対象とした防災イベントを実施。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	地域防災力向上セミナーを開催。	①地域防災力向上セミナーを開催 ②関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区(河川)について、関係機関及び地域住民との情報共有を行う。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	オサラッペ川の浸水想定区域図(想定最大規模)より点検し、該当施設が無いことを確認済。	オサラッペ川の浸水想定区域図(想定最大規模)より点検し、該当施設が無いことを確認済。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者の連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	①関係者(旭川河川事務所)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	釜場の整備、内水常襲箇所の把握を行った。	内水常襲箇所の状況把握を実施予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2) 大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年度に作成済み。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R4年度は町民を対象に作成サポートを実施予定。 ③R5年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載されていることを確認した。	①R4年度までに地域防災計画を見直し、想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を記載予定。 ②令和5年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討した。	①R3年度は有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・デジタル防災無線導入事業を実施 ・ホームページの多言語化を実施	①様々な情報伝達手段の多言語化を実施予定。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H31年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップ作成済。	①必要に応じてまるごとまちごとハザードマップの更新を検討する。 ②R4年度は3Dハザードマップを作成予定。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、出前講座を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、出前講座を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ホームページに掲載した。	①ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新する予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修・勉強会に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	①重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を引き続き実施予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。 ・小型排水ポンプ機器を整備した。	①減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・小型排水ポンプ機器を整備した。	①小型排水ポンプ機器の管理・操作訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握した。	①R3年度に排水作業準備計画書の更新予定。 ②内水常襲箇所の状況把握を実施予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインはH29年度に作成済み	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインの作成サポート計画に係る立案検討の実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画の作成の検討の実施						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS、IP告知端末、有線屋外スピーカーにより情報伝達の実施	情報伝達手段における多言語対応の検討の実施						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R元年12月に住民に配布(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	まるごとまちごとハザードマップの作成に係る立案の検討の実施						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の把握	ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の把握						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・試行運用タイムラインの作成	・見直しを検討予定。 ・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練の実施を検討する。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・住民による作成サポート計画を立案予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討。	・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ・避難訓練実施の検討する。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町と広域避難計画について検討する。	・引き続き、近隣市町村と広域避難計画を検討する。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッターなどを整備した。	・ツイッターの多言語化を検討する。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民に配布した。(ホームページにも掲載)	・ハザードマップの更新予定。 ・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	・引き続きまるごとまちごとハザードマップの作成を検討。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災授業を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に防災授業を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・北海道の協力により、町職員等を対象とした防災訓練を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に町職員及び町民を対象の防災訓練を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報誌、ホームページに掲載した。	・引き続き広報誌、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を検討した。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・北海道市町村防災力強化専門研修等に参加。 ・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加を検討した	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内に、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握した。	・引き続き想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内の状況を確認し、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った。	・引き続き、減災対策部会や研修会等で方法等を確認する。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ機器の整備等について検討した。	・迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプユニット等の操作訓練を行う。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。	・引き続き、旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目したタイムラインの作成を検討。	・R4年度までに警戒レベルを用いた避難勧告等の発令、伝達に着目したタイムラインを作成予定。 ・作成以降、毎年見直しを実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・令和3年度は住民による作成サポート計画を作成予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計画の作成を検討。	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計画の作成を検討する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広報避難計画の検討。	・引き続き広報避難計画の検討を行う。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・IP告知端末器による情報発信の実施。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップを更新。 ・インバウンドに対応したハザードマップを更新。	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模の洪水ハザードマップとの整合や、インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた、まるごとまちごとハザードマップを更新。	・毎年記載内容を確認し、住民による有効的な活用についても検討を行う。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業の期間があり実施せず。	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・避難訓練及び講習会等は実施せず。	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を検討。	・引き続きインバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を検討。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	-	・ハザードマップ作製の対象外となっている地区を把握し、対応について検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川上流減災対策部会や石狩川上流流域治水協議会の立ち上げに参加し防災対応力向上を図った。	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川上流減災対策部会において確認・共有を行った。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ・減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙やホームページ等で消防団員の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練は実施せず。	・排水資機材所有団体と連携して排水作業訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H29年度にタイムライン作成完了。 ・令和元年度に発災直後からの業務分担も含めた業務継続計画を策定	H29年度作成のタイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインのひな形を作成し、地域住民に普及啓発を検討実施する。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。 【平成28年度から検討・実施】 平成31年3月に、災害時要支援者リスト表示システム導入	避難行動要支援者にたいする個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	避難行動要支援者名簿の更新業務の検討						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画の検討 【平成31年度から検討・実施】	・近隣市町村との具体的な調整を検討予定。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・エリアメールについて引き続き活用。 ・防災行政無線(同報系)親局と中継局を設置 ・多言語放送に対応した支局(屋外拡声器)を設置 ・個別受信機の配備(200台)	ツイッターでの情報発信内容の検討。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの検討・作成を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえたハザードマップ等の検討・実施。 ・ハザードマップを他部署に	ハザードマップの更なる周知や施設への設置範囲の拡大を検討。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまことハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模の洪水ハザードマップとの整合や、インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた、まるごとまことハザードマップの検討を実施。	まるごとハザードマップの作製・設置を検討実施予定。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、防災教育の事前講座を実施した。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・避難時の水防災に関する意識向上のための講習会の実施の検討。 ・自衛隊との合同図上訓練打ち合わせの実施	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・イベント開催時に合わせた啓蒙活動を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。	引き続き、インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F		ハザードマップの空白地についての対応検討予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施する。 【引き続き実施】	毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施検討。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会等で水害対応力の向上を図る。 ・石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加。	石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を行う。【引き続き実施】	減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集・指定の促進を検討・実施。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。 【引き続き実施】	引き続き、ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施	迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施	緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2) 大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH30年7月に作成済み。	①R3年度(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R3年度は先行事例として西部自治振興区を対象に作成サポートを実施予定。 ③R4年度以降は計画に基づきサポートを全自治振興区で実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載されていることを確認した。(10カ所) ・そのうち、6カ所の施設について、避難確保計画策定、避難訓練を実施した。	①R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討する。	①R3年度は有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、防災無線を整備した。	R3年度以降にタブレット端末の貸与を含め、スマートフォン等による情報伝達手段を構築予定。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。	R4年度はまるとまちごとハザードマップを作成予定。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・副読本の作成支援した。	R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、効率的な訓練の検討	各自治振興会でDIG,HUG訓練を予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災ハザードマップ(冊子)、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区の住民を含め説明会を実施予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関との勉強会に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンによる操作訓練を実施。	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンによる操作訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握した。	R3年度にため池ハザードマップを作成予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年に作成済み。	・必要に応じて見直しを実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてマイ・タイムラインを掲載	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を確認した。	・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿の作成	・毎年、避難行動要支援者名簿の更新						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K		・その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・LINEを活用した美瑛町公式LINEの運用を開始	・美瑛町公式LINEの普及啓発を行う						

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを令和2年8月に更新し、全戸配布した。	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。	・令和4年度まるとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・随時、ハザードマップの説明会を実施予定						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災に関する情報を随時、広報に掲載した。	・防災に関する情報を随時、広報に掲載する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・対象外となっている地区を対応を検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図った。	・減災対策協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図る。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図った。	・減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・引き続き効果的な対応を検討した。	・引き続き効果的な対応を検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・引き続き、水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・引き続き、減災対策協議会や研修等において確認・共有を行う。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・各消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施した。	・関係者(JA、消防団、建設業協会)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・実施なし	・内水被害想定箇所の情報把握を実施予定						